

【展開の記録用紙】

教科（ 生物 ） 内容（ 動物の発生：ウニとカエル ）

場 所：生物室 A

日 時：令和4年（2022）5月25日5限目

クラス：3年2・5組（生物選択者）

クロス教科：生物・美術

スタイル：IT方式

目的：ウニとカエルの発生過程を立体的にイメージできるようになる。

	教師の発言・指導	学習活動	備考	問題・改善点, 良い点
導入 10分	<p>○今日の流れ確認</p> <p>○美術の立体に起こす方法を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空間認知能力の確認 ・六面図について 	<p>○班ごとに集まる</p> <p>前回までの内容を確認させる</p> <p>○プレゼン視聴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空間認知の確認のためにアンパンマンの横画を書く 	<p>○粘土を置くラミネート板を使用させる</p> 	
展開 40分	<p>○個人で活動に移るように促す。</p> <p>○粘土の色と胚葉の種類的一致を確認させておく。</p>  <p>○各班をまわり、助言をしていく。</p>	<p>○粘土による模型作成</p>  		<p>教員が2名以上いることもあり想像以上にスムーズに行うことができた。</p> <p>想像以上に立体的にイメージできていない生徒が多いことが分かった。</p> <p>多くの動画や画像を準備する必要があると感じた。</p>
片付け	<p>○乾燥しないようにジップロックに保管させる。</p>	<p>○片付けを行う。</p>		<p>○次回は全体で動画での確認を行って続きを行う。</p>

【授業後の記録項目例】

<p>指導上の留意点</p>	<p>図から立体をイメージできるようになってほしいので、できあがりを見せるのではなく図や動画から作成できるように資料の提示や助言等をこまめに行う。</p>
<p>評価の観点 授業で何を理解し何ができるようになるか</p>	<p>ウニとカエルの発生過程を立体的にイメージできるようになり、問題などで示された図がその方向から見ているのか、どの方向の断面なのかを理解できるようになる。</p>
<p>生徒の感想</p>	
<p>指導者側の感想</p>	<p>生物：立体的に起こす技術や空間認知能力を確認するなど生物では図を見て理解できるとしていた物を改めて、確認させるとここまで理解できていなかったことに驚いた。また、理解できていないと考えて授業をしなくてはと感じた。 美術：</p>